

2023年2月8日

2023年3月期 第3四半期連結業績の概要

<2023年3月期 第3四半期累計業績:連結売上収益>

全世界生産台数は、半導体を中心とした部品供給課題が継続する中、柔軟に生産計画を調整するなど影響の最小化に努め、前年同期比 22.2%増の 671 千台となりました。
国内生産は同 30.7%増の 457 千台、海外生産は同 7.4%増の 214 千台となりました。

これを受け、全世界販売台数は、重点市場である米国や国内を中心に堅調に推移し、同 16.0%増の 635 千台となりました。

連結売上収益は、為替変動による増収効果および販売台数の増加などにより、同 39.9%増の 2 兆 8,080 億円となりました。

<2023年3月期 第3四半期累計業績:連結損益>

連結損益については、継続する原材料価格の高騰および諸経費等の増加があったものの、為替変動による増収効果および販売台数の増加などにより、営業利益は前年同期比 1,365 億円増加の 2,137 億円、税引前利益は同 1,239 億円増加の 2,151 億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は同 916 億円増加の 1,544 億円となりました。

<2023年3月期 通期連結業績見通し>

半導体供給課題による生産制約が継続する状況を踏まえ、前回*(2022年11月2日)発表値に対して、全世界生産台数は90千台減少の880千台(前期比21.1%増)、全世界販売台数は50千台減少の870千台(同18.5%増)、売上収益は1,000億円減少の3兆7,000億円(同34.8%増)に修正します。一方、製造から販売まで含めたバリューチェーン全体の効率化や各種費用の精査を推し進めるとともに、想定為替レートの見直しなどを織り込み、各段階利益(営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益)は、前回発表値から変更ありません。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥134/US\$、¥140/EUROです。

*前回公表の通期連結業績見通し

営業利益 3,000 億円、税引前利益 3,000 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 2,100 億円
想定為替レート ¥133/US\$、¥136/EURO

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



< 2023年3月期 第3四半期連結決算 参考資料 >

金額：億円、台数：千台、比率：%

	前期実績 2022年3月期 第3四半期累計期間 (2021. 4. 1-2021. 12. 31)		当期実績 2023年3月期 第3四半期累計期間 (2022. 4. 1 — 2022. 12. 31)		前期実績 2022年3月期 通期 (2021. 4. 1-2022. 3. 31)		当期予想 2023年3月期 通期 (2022. 4. 1 — 2023. 3. 31)			前回当期予想 2023年3月期 通期 (2022. 4. 1-2023. 3. 31)	
			増減	増減率			増減	増減率			
売上収益	20,075	28,080	8,005	39.9	27,445	37,000	9,555	34.8	38,000		
日本	3,457	4,318	861	24.9	4,880	-	-	-	-		
海外	16,618	23,762	7,144	43.0	22,565	-	-	-	-		
営業利益	772	2,137	1,365	176.9	905	3,000	2,095	231.7	3,000		
利益率	3.8	7.6			3.3	8.1			7.9		
税引前利益*1	913	2,151	1,239	135.8	1,070	3,000	1,930	180.4	3,000		
利益率	4.5	7.7			3.9	8.1			7.9		
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	629	1,544	916	145.6	700	2,100	1,400	200.0	2,100		
利益率	3.1	5.5			2.6	5.7			5.5		
営業利益増減要因			為替レート差	1,661			為替レート差	2,435			
売上構成差等			1,300	売上構成差等			1,695				
			原価影響	-944			原価影響	-1,237			
							諸経費等	-614			
					研究開発費	-19			研究開発費	-102	
					その他	-19					
為替レート	111円/US\$ 131円/EURO	136円/US\$ 141円/EURO					112円/US\$ 130円/EURO	134円/US\$ 140円/EURO			
設備投資	506	767			861	1,300			1,400		
減価償却費	699	759							946	1,000	1,000
研究開発支出*2	869	759			1,138	1,100			1,200		
有利子負債残高	3,449	3,268							3,340	-	-
業績評価			・3期振りの増収 ・7期振りの各利益増益 ・3期振りの連結販売台数増				・3期振りの増収 ・3期振りの各利益増益 ・3期振りの連結販売台数増				
日本販売台数合計	66	76	10	15.8	89	106	16	18.2	115		
登録車	54	62	8	15.7	73	87	14	19.4	95		
軽自動車	12	14	2	16.0	17	19	2	13.1	20		
海外販売台数合計	482	559	77	16.0	645	764	120	18.6	805		
北米	411	470	60	14.5	555	643	87	15.7	681		
欧州	12	15	3	26.8	15	-	-	-	-		
中国	11	8	-3	-23.5	14	11	-3	-20.3	14		
その他	49	66	17	35.5	60	-	-	-	-		
連結販売台数総計	548	635	88	16.0	734	870	136	18.5	920		
生産台数合計	549	671	122	22.2	727	880	153	21.1	970		
日本	350	457	107	30.7	455	-	-	-	-		
米国	199	214	15	7.4	272	-	-	-	-		
売上収益 事業別	自動車 19,573	27,503	7,930	40.5	26,775	36,167	9,393	35.1	37,135		
航空宇宙	466	540	74	15.8	623	784	161	25.9	819		
その他	36	37	1	3.1	48	48	1	1.7	47		
営業利益 事業別	自動車 750	2,115	1,365	181.9	925	2,951	2,026	218.9	2,951		
航空宇宙	-25	-25	-0	1.1	-70	2	72	-	2		
その他	46	47	2	4.3	48	47	-1	-2.6	47		
消去・全社	1	-0	-1	-110.7	1	-	-	-	-		

*1. 第3四半期累計期間について、財務諸表上は「税引前四半期利益」として記載

*2. 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額。IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なる。

注1. 連結販売台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対するSUBARUの出荷などの合計値。

注2. 日本生産台数にはトヨタ向けGR86の台数を含む。

注3. 2023年3月期 第1四半期連結決算より、欧州地域の定義を見直し（過年度実績含む）

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。